2024年11月1日

## お客さま本位の業務運営に関する取組状況および KPI実績値の公表について

- 当組合は、「農業と協同の力で木曽の未来をささえます」の基本理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成と、「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じた、豊かな生活づくりに貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」(「比較可能な共通 K P I 」)も同時に公表いたします。

木曽農業協同組合

#### 1. お客さまへの最適な商品、共済仕組みサービスの提供

#### (1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの 多様なニーズやライフステージに合った商品を提供し、長期安定的な資産形成・運用に資する最 適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様 のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な 商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします

#### く投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外			
債券型	1 (前年度末:1)	4 (前年度末:3)			
株式型	3 (前年度末:3)	5 (前年度末:5)			
REIT型	1 (前年度末:2)	2 (前年度末:2)			
バランス型		7 (前年度末:7)			

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債 投信は含んでおりません。

#### <商品選定の考え方>

※商品選定の考え方: JAバンクHP

https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi

sintaku/select/



# 2. お客さま本位の提案と情報提供① (1)信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1~5)、 原則6本文および(注1、2、4、5)】

• お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、皆さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案しております。

#### <投信つみたて契約件数の推移>

## (件)7 6 5 4 3 2 1 0 0 0 0 2021年度 2022年度 2023年度

#### <購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>

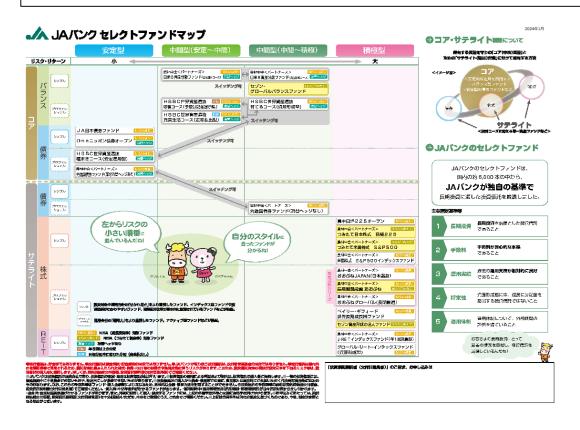


#### 2. お客さま本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

#### (1)信用の事業活動

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、資産運用ガイダンス、JAバンクセレクトファンドマップ等を活用のうえ丁寧かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。





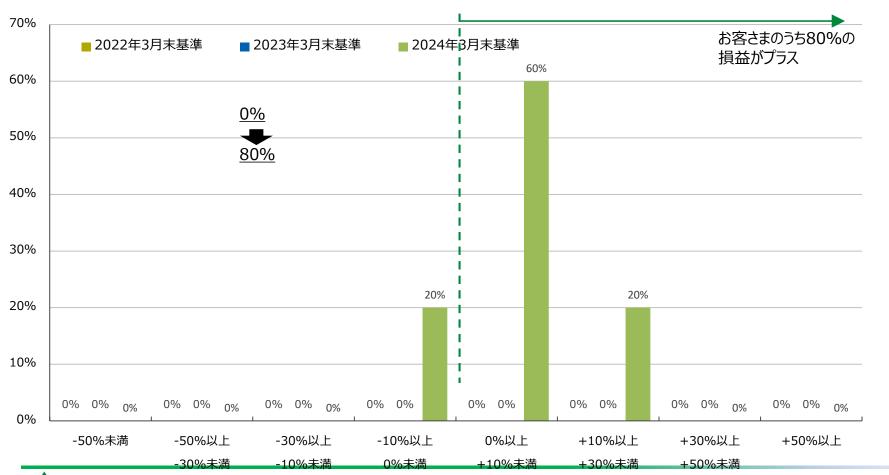
- 3. 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】
  - お客さまの利益を保護することを目的として、基本方針である「利益相反管理方針」および利用者保護等管理規程に則り、「利益相反管理規則」を独自に定め、統括部署である企画管理部による、定期的な検証を行う等、適切な管理に努めております。

- 4. お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および (注)、原則6 (注5) 】
  - 研修による知識向上や外務員資格等取得の推進を通じて、高度な専門性を有し誠実・公正な 業務を行う事ができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築して おります。

#### Ⅱ.比較可能な共通KPI

#### 1. 運用損益別顧客比率(投資信託)

• 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の80%のお客さまの損益がプラスとなりました。

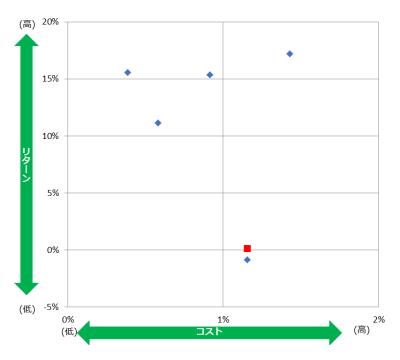


## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

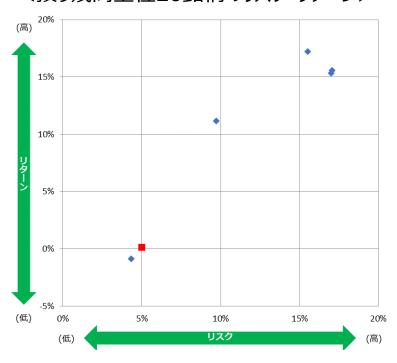
#### 2. 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(1/3) (2024年3月末)

- J A バンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づき チェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.15%、平均リスク5.00%に対して、 平均リターンは0.13%でした。

#### <預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



#### <預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



- ※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
- ※赤い点は平均値を示しています。

### Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2. 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(2/3) (2023年3月末)

• 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト %、平均リスク %に対して、平均リター ンは %でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>

<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>

<sup>※</sup> 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

<sup>※</sup>赤い点は平均値を示しています。

2. 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(3/3) (2022年3月末)

• 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト %、平均リスク %に対して、平均リター ンは %となりました。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>

<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>

<sup>※</sup> 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

<sup>※</sup>赤い点は平均値を示しています。

## 2. 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(1/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト <b>全</b> 体		
1	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%		
2	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%		
3	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%		
4	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%		
5	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%		
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		0.13%	5.00%	1.15%		



<sup>※ 2024</sup>年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は5本となります。

<sup>※</sup> 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

2. 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(2/3) (2023年3月末)

<sup>※ 2023</sup>年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は0本となります。

<sup>※</sup> 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

2. 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

- ※ 2022年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は0本となります。
- ※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。